

平成22年2月8日

各位

株式会社日本トリム

 代表取締役社長 森澤紳勝
 (東証第一部: 6788)

お問い合わせ先

 執行役員管理事業部長 古閑信夫
 (TEL: 06-6456-4600)

業績予想修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年11月9日に公表しました平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)業績予想(連結)及び平成21年5月11日に公表しました平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)業績予想(個別)を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	8,780	760	870	450	100.79
今回発表予想(B)	8,150	1,200	1,300	700	158.59
増減額(B-A)	△630	440	430	250	57.80
増減率(%)	△7.2	57.9	49.4	55.6	57.3
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	7,962	734	865	226	50.76

(2) 平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位: 百万円)

売上高	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	8,330	760	870	390	87.35
今回発表予想(B)	8,000	1,030	1,140	680	154.06
増減額(B-A)	△330	270	270	290	66.71
増減率(%)	△4.0	35.5	31.0	74.4	76.4
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	7,858	695	839	192	43.21

2. 修正の理由

(1) 通期の連結業績予想

当第2四半期において新型インフルエンザ流行などにより現下不透明な営業環境でありましたが、当第3四半期においてその要因も薄れていることにより、通期業績予想を下記の通り修正とさせていただきます。

当第3四半期累計期間におきましては、職域販売・取付及び紹介販売部門（D S・H S事業部）が前年同期比2.6%増、カートリッジ売上が前年同期比10.5%増と順調に推移いたしましたが、店頭催事販売部門（S S事業部）及び卸・販売部門（業務部）の販売が当初計画を下回ったことにより、売上高が当初予想を下回る見込みです。

しかし、営業利益、経常利益につきましては、下記理由により、予想を上回る見込みです。

- ① D S・H S事業部、S S事業部の直販部門で一人あたりの販売台数が向上して販売効率が改善した。
- ② ストックビジネスであり、限界利益率の高いカートリッジ販売が伸張した。
1月より使用済み浄水カートリッジを無償で回収するサービスとリサイクルを開始したことに伴い、今後更に交換率が増加すると見込まれる。
- ③ 新商品TRIMION US-100の平成21年4月投入により売上総利益率が向上した。
- ④ 当社グループにおいて経費の見直しを行い、海外子会社を含め販売費一般管理費が削減できた。

今後、修正の必要が生じた場合は、速やかに公表させていただきます。

以上を踏まえ、業績修正のご報告をさせていただきます。

なお、上記業績に関する予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により当該予想と異なる可能性があります。

以上